昭和39年度の決算状況

○……前号でも一部おしらせしましたが、昭和三十九年度の町の決算が十月二十一日に開かれた第六回臨時町議会で認定されました……○

赤字二千万円で押える

四〇年度で全額解消

一般会計

昭和三十九年度は、前年度から引継いだ赤字を解消する前提で、財政再建計画に基づいて執行されました。

昭和三十九年も、一、七九〇万円少ない額で押えることができました。これによって昭和四十一年度までかかって赤字を解消する計画だったのを、一年繰り上げて今年度で財政再建計画を終えることができました。

大月には未曾有の震災にあい災害復旧のための費用の増加などで四億円を上回わる大きな予算規模になりました。

町の収入の決算額は、三億七、〇一二万円、支出は三億九、〇六〇万円、収入支出差引で二、〇四九万円の赤字です。この年度における当初の赤字予定額は三、八三八万円の予定でした。しかし、経費を節約したことや収入の増えたことなどによってこれよりも一つの原因とされますが、それ以上に震災の被害にもかかわらずみなさんからご協力をいただき、納税に理解を寄せていただいたことが大きな原因といわれます。また町の財政構造を分析した場合、人件費や物件費のしめる割合は、全国の同じくらいの規模の町村とくらべてみると、おおむね平均化されてきており、健全な方向にむかいつつあることがうかがわれます。

収入のうち町税は、収納率が昭和三十八年度を上回わる九四・八％という好成績でした。この年度中に実施したおもなことは減税補てん債によって町民税が軽くなったこと。

この年度に実施したおもな事業

役場庁舎建築　七二四万
じんかい車購入　一三〇
公衆便所移築　三四
商工労働会館建築用地埋立　三五
農林水産振興　二六一
（溝掘機購入、町営試験田用地買収など）
道路橋りょう新設　二九七
（高森新田胡桃山線改良、豆田橋架替ほか）
都市計画街路　六二〇
都市下水路　八五
消防器具置場の改修　一〇三
小型動力ポンプ購入　四〇
木崎小学校プール建設　二四
岡新田小学校々舎改築　二八一
下土地亀小学校特別教室新築　一九二
小学校給食施設（木崎小ほか五校）　一一九
岡方第一小学校々舎改築　八五
太田小学校簡易水道　四三
長浦中学校プール建設　三九〇
中学校自転車置場建設　八〇
中学校給食施設　三八
木崎分校々舎移築　四七五
災害復旧　四、四七四
（農地農業用施設、土木施設、文教施設、公共用施設）

国保会計

収入総額　九、五六一万円
支出総額　九、五二三万円
収入支出差引三四万円の黒字決算です。前年度以前から基金として積立ておいたなかから一、一〇〇万円を繰り入れしたためで、これがなかったときには一、〇六一万円の赤字を生ずるところでした。これは医療費の増加がおもな原因であり、そのため昭和四十年度の保険税が高くなったことはすでにおしらせしたとおりです。しかし今後さらに医療費が増える傾向にあり、四十二年度からの家族全員七割給付を前にして国保財政は多難です。

各会計の決算額

一般会計

歳入		歳出	
町税	11,679万円	議会費	785万円
地方交付税	12,203	総務費	7,117
分担金・負担金	139	民生費	2,029
使用料・手数料	884	衛生費	1,954
国庫支出金	1,824	労働費	69
県支出金	2,638	農林水産業費	2,387
財産収入	565	商工費	852
寄附金	443	土木費	3,307
繰入金	37	消防費	1,588
諸収入	2,120	教育費	7,787
町債	4,480	災害復旧費	4,394
		公債費	1,469
		繰上充用金	5,322
合計	37,012	合計	39,060

国民健康保険特別会計

歳入		歳出	
国民健康保険税	3,416万円	総務費	726万円
使用料・手数料	2	保険給付費	8,233
国庫支出金	4,920	保険施設費	475
財産収入	84	基金積立金	79
繰入金	1,100	公債費	8
諸収入	39	諸支出金	2
合計	9,561	合計	9,523

水道会計

収益的収入		支出	
営業収益	2,572万円	営業費用	2,020万円
営業外収益	650	営業外費用	1,328
合計	3,222	合計	3,348

尾山簡易水道事業会計

歳入		歳出	
	26万円		21万円

来春完工をめざして

木崎小体育館の改築工事はじまる

木崎小学校屋内体育館の改築が行なわれます。

すでに旧い体育館は取りこわされ六〇万円で木崎農業協同組合に売り渡されましたが新しくできる体育館は一、一五六平方㍍（約三五〇坪）で非業費は二、五五〇万円です。町予算では二カ年計画で支出されますが、来年春には一部鉄筋コンクリート造りでギャラリーのついたすばらしい体育館がお目見えすることになります。

◎委員長　○副委員長
◎小池市太郎（内島見）○藤田勝助（尾山）　渡辺磯作（内島見）　須藤幸一（下早通）　横山英男次（上嘉山）　渡辺九蔵（大瀬柳）　川瀬俊雄（下土地亀）　土佐伊一（下大谷内）

木崎小屋内体育館建築委員

低かった婦人の投票率

県知事選挙の結果

十四日に執行された県知事選挙の結果は、次のとおりです。悪天候のため、七月の参議院議員選挙と同様婦人の投票率は悪く、県平均（七六・三四％）を下回る七四・七四％でした。

候補者別町の得票数

塚田十一郎	八、三七九票
吉沼　浄真	四、七三六票
浦沢与三郎	四七一票
有効者総数	一八、三一〇人
投票総数	一三、六八四票
有効投票総数	一三、五八六票
無効投票総数	八九票

各投票区ごとの投票率（パーセント）

投票区	男	女	計
第1投票区（海校）	83.23	79.42	81.13
第2投票区（すみれ）	80.53	78.36	79.35
第3投票区（中央公）	75.56	67.34	71.10
第4投票区（太田小）	85.71	74.21	79.48
第5投票区（木崎小）	79.02	62.45	70.28
第6投票区（下大谷内公）	82.44	69.90	75.85
第7投票区（笹山小）	75.00	58.92	66.61
第8投票区（浦ノ入公）	77.16	63.12	69.72
第9投票区（横井小）	73.73	60.81	67.10
第10投票区（早通小）	82.19	68.38	74.95
第11投票区（岡1小）	80.15	67.26	73.28
第12投票区（岡方中）	80.38	70.00	75.00
第13投票区（岡2小）	80.86	75.82	78.31
第14投票区（浦木公）	74.55	60.87	67.30
第15投票区（岡新田小）	85.71	72.99	78.89
第16投票区（長場小）	76.72	85.21	66.94
第17投票区（上亀小）	83.15	72.54	77.65
第18投票区（下亀小）	86.38	78.03	81.96
平均	80.18	69.94	74.74

町加入の記念レース

組合議員もきまる

豊栄町が新潟県競馬組合に加入することが正式にきまり十一月十九日に開かれた第八回新潟地方競馬で豊栄町競馬組合議員が選出されました。

第一一回新潟地方競馬
十二月　十九・二十・二十一
二十四・二十五・二十六（六日間）

大瀬柳に児童館

部落の熱意みのる

町はじめての児童館ができました。

児童館というのは、いわゆるカギッコ対策としてのこどもたちのための施設で、保育所や幼稚園とちがって就学前の幼児だけでなく、小学校の児童もその対象です。

落公民館あとです。総非業費約三六〇万円で、県からの補助金一二〇万円のほかは、部落の寄附金によってまかなわれました。

建物は木造平屋建五七坪で遊ぎ室のほか、保育、調理、図書、事務などの各部屋があります。

十二月一日、新しくできあがった児童館で関係者約七十人が出席して完工式をあげましたが、こどもたちの顔によろこびの色があふれていました。

（写真　できあがった児童館、これからは部落の集会や保育所としても活用できます）

法務局水原張所も明後年に

葛塚出張所が移転

十一月十三日から新潟地方法務局水原出張所の庁舎が、次の場所へ移転したのでこの管轄である長浦地区長場以南の方はご注意ください。

移転先　水原町大字中島一二五四番地八

なお、葛塚出張所は建物が古くなったため、明後年には改築する計画だということです。

文化祭の展示品を貸し出し

役場では、文化祭で「町の十年のあゆみと将来の豊栄町展」を出展しました。この展示品を小・中学校児童生徒の社会科の教材として利用したいという申出があり、これを貸出しすることになりました。各学校へは出品目録をおあげしますが、学校以外でも必要があれば貸出いたします。申し込みは、役場総務課です。

（写真は、展示品の一部）

県外からの視察でにぎわう

町議会は、昨年全国議長会から表彰されるなど、その活動は全国的にも有名になっています。最近は、遠く徳島県や愛媛県などからも視察者が相次いで来町し、東工業港や競馬場を案内するなど、議会事務局ではうれしい悲鳴をあげています。